差出人: JESEA（地震科学探査機構） mag2 0001592103 mailmag@mag2premium.com
件名: MEGA地震予測 2024年3月13日発行（Vol.24,No.11）
日付: 2024年3月13日 16:12
宛先: kozo26@icloud.com

JESEA
地震科学探査機構
JAPAN EARTHQUAKE SCIENCE EXPLORATION AGENCY

週刊 MEGA地震予測

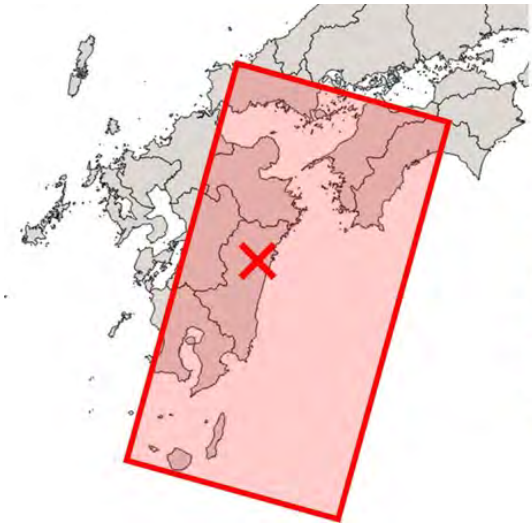
2024年3月13日発行（Vol.24,No.11）

1．ピンポイント予測

多くの前兆が複合して現れています。
当社の過去2年間のデータでは、M6以上、または震度5弱以上の地震が日本国内で2週間以内に73%、 1か月以内に83%の確率で発生する可能性があります。
以下のピンポイント予測発出地域および本文で注意喚起しているエリアは特段の警戒をお願いします。
防災グッズや非常用食料の確認をしておく、車のガソリンを満タンにしておくなどできる範囲の準備を推奨させていただきます。

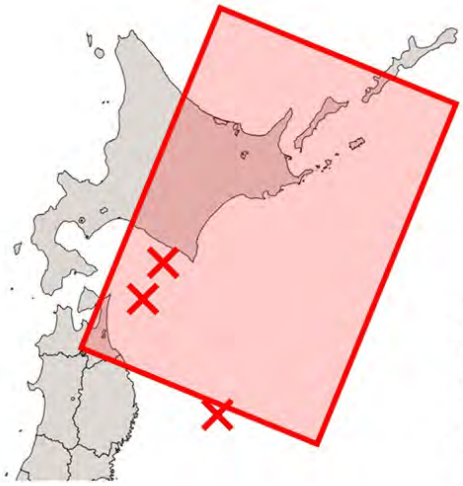
2024.03.13発出(新規)
エリア：関東地方周辺
時期：04/13まで
規模：M5.5±0.5

2024.02.16発出
エリア：北海道・東北地方
時期：03/17まで
規模：M6.5±0.5



2024.02.28発出
エリア：九州・四国地方
時期：03/27まで
規模：M5.5±0.5
地震発生
3/2 宮崎県北部平野部
最大震度4 M4.3

【ピンポイント予測レビュー】

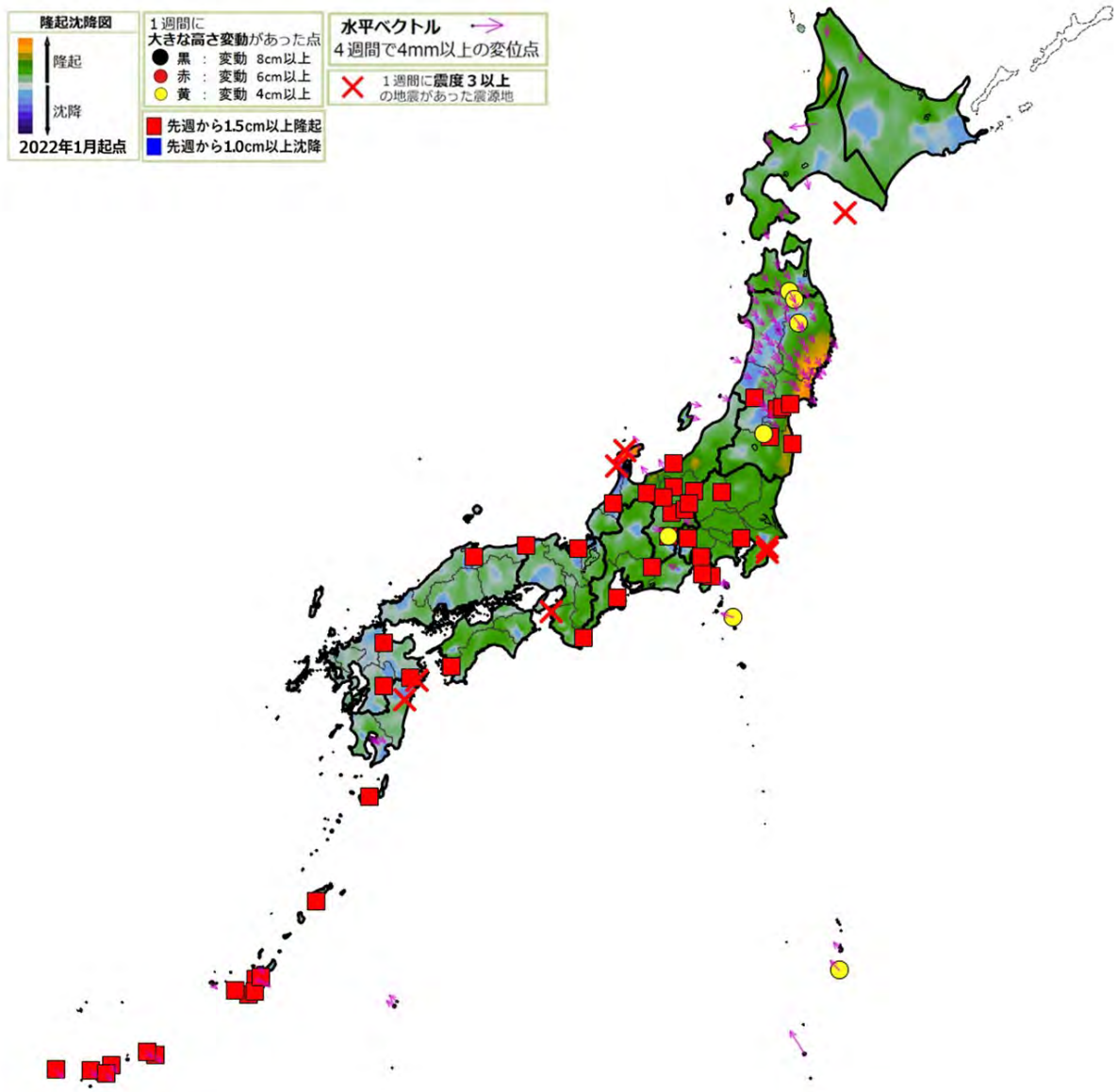


予測
2024.02.07発出
エリア：北海道
時期：03/06まで
規模：M5.5±0.5

結果
03/03 青森県東方沖 最大震度3 M4.7
02/28 浦河沖 最大震度3 M4.5
02/24 三陸沖 最大震度2 M5.2

2. 地震予測サマリー

2. 地震予測サマリー



〇警戒エリア
（数週間にわたり多くのデータに異常変動が見られる）

北海道道北・道東
北海道道央・道南・青森県
東北地方
関東地方・山梨県
北信越地方
四国地方
九州北部
九州南部
南西諸島

〇注意エリア
（数週間にわたり複数のデータに異常変動が見られる）
東海地方
近畿地方
中国地方

〇今週の注目ポイント
・速報解R5データでは「富士山」に大きな水平変動が出ています。
富士山は北米プレート、ユーラシアプレート、フィリピン海プレートの3つのプレートの交点に位置しており、 大きな地震の前には敏感に反応しますので要注意です。 富士山周辺に限らず遠い場所で起きることもあります。東日本大震災や能登半島地震の前にも異常な変動を示しました。
・4cm以上の週間高さ変動は7点現れています。
・2022年1月を起点にした隆起沈降は、全国的に隆起しています。 ここ一週間は全国の電子基準点のほとんどで隆起し、沈降した点は長野県の「飯田」1点のみでした。
前週と比べて急激に1.0cm以上隆起した点は395点ありました。一方、前週と比べて急激に1.0cm以上沈降した点はありません。 1cm以上隆起した点が多いため、図と文中には1.5cm隆起した45点を記します。
・今週の水平変動は、東北地方に南東方向の変動が現れていますが、全国的には先週に引き続き極めて静穏です。

〇今週の使用データ
・F5最終解データ（2月11日～2月17日）：隆起沈降図、週間高さ変動、水平変動図、前週と比較して1.0cm以上の隆起沈降に使用。

【目次】
1．ピンポイント予測
2．地震予測サマリー
3．特集・千葉県の異常変動?

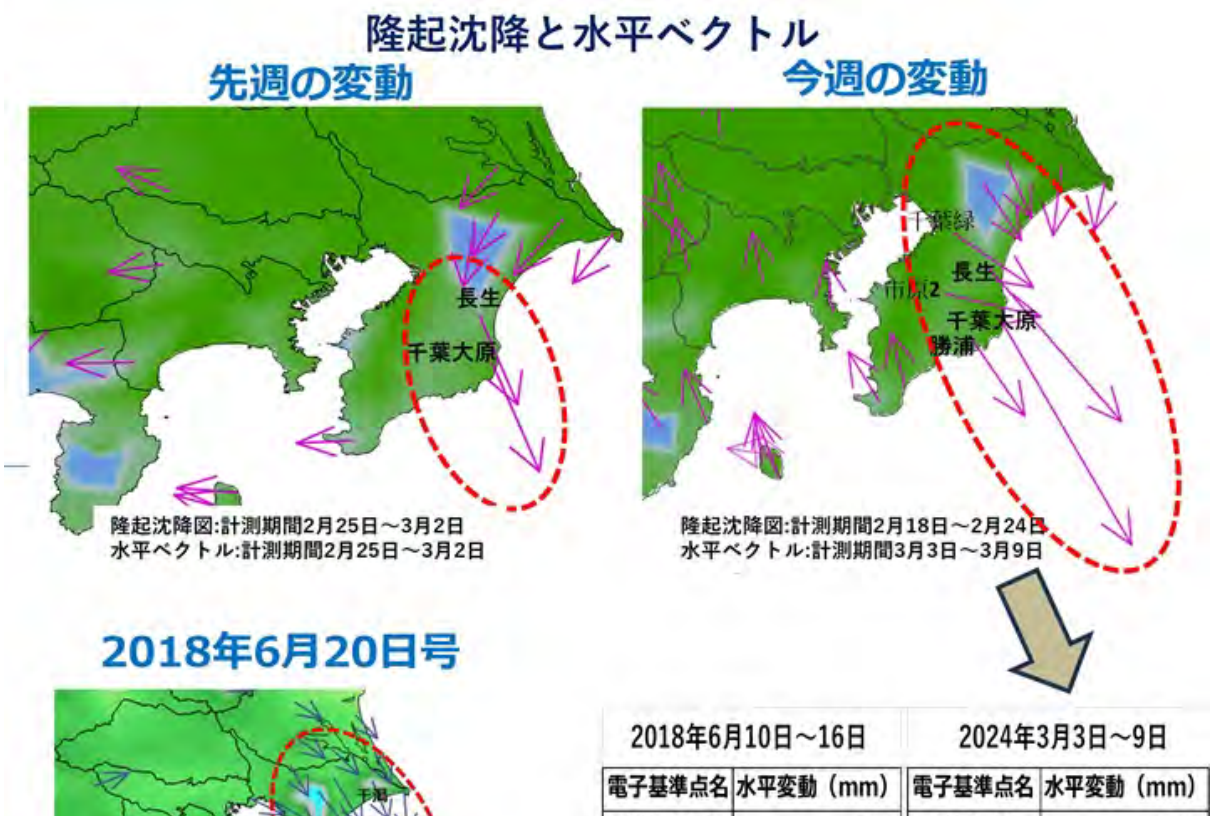
3．特集：千葉県の異常変動2
4．各地の予測・概況
5．コラム「地震が変えた日本史」
6．皆様の街の電子基準点

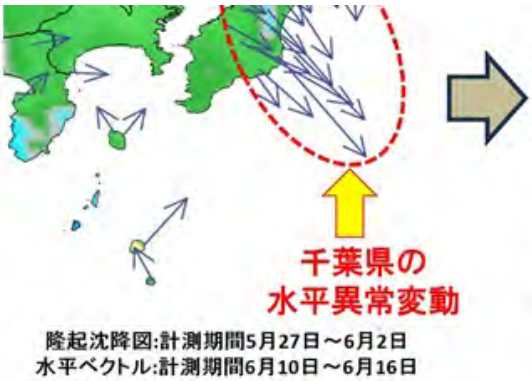
3．特集：千葉県の異常変動2

【千葉県の異常変動2】

先週に続き千葉県の異常現象について特集します。 千葉県東方沖・千葉県南部にて群発地震が起きています。 政府の地震調査委員会の資料によると 「東方沖で約5年8か月ぶりに、プレートが緩やかにずれ動くスロースリップ現象が観測された。」とあります。 最新の速報解データ(3/3～3/9)の水平変動に異常が現れており、2018年7月7日にM6.0震度5弱の地震が同じエリアで起きましたが、 その前兆と酷似しています。

先週よりも更に水平変動が大きくなり、2018年の水平変動に近づいております。先週と今週の変動の変化を下記に示します。





千葉大原	18	千葉大原	22
長生	17	長生	17
大多喜	14	市原２	8
大網白里	13	千葉緑	8
千葉松尾	11	勝浦	8
千葉緑	10	干潟	6
市原２	9	富里	6

４．各地の予測・概況

北海道・青森県

2024.02.16発出

エリア：北海道・東北地方

時期：03/17まで

規模：M6.5±0.5

警戒エリア：北海道道北・道東
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起と沈降が混在しています。ここ1週間は隆起しました。 根室・釧路地方と大雪山周辺の沈降エリアは縮小しました。
水平変動はほぼ静穏です。

警戒エリア：北海道道央・道南・青森県
以下のピンポイント予測を発出しています。警戒を怠らないでください。
「北海道・東北地方でM6.5±0.5の地震が3月17日までに起きる可能性があります。」

浦河沖を震源とする震度3の地震が起きました。
4cm以上の週間高さ変動が青森県の「十和田湖2」、「田子」に現れました。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起しています。胆振地方と石狩地方の沈降エリアは縮小しました。 ここ1週間は隆起しています。
北海道道南から青森県に南東方向の水平変動が現れています。

東北地方

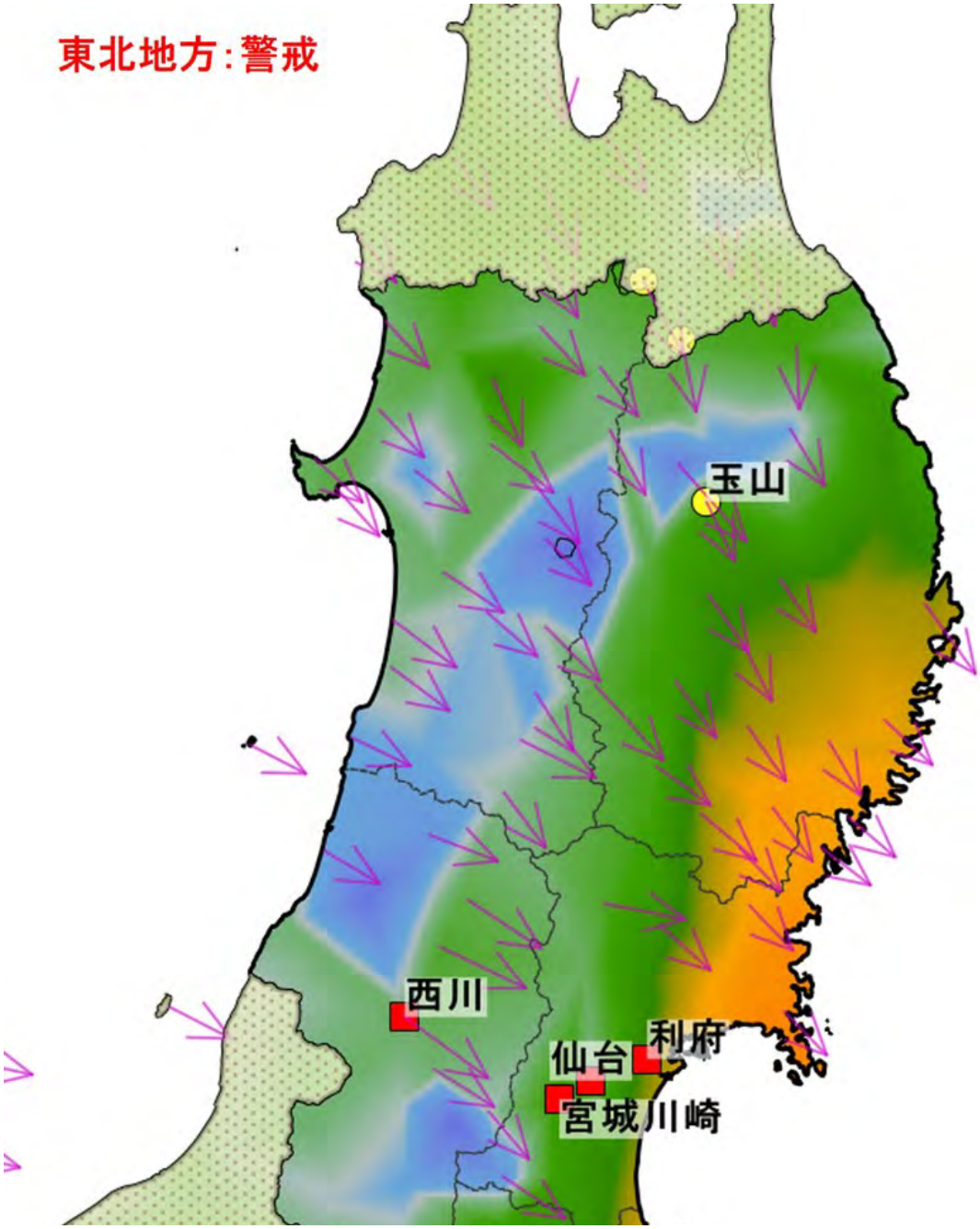
2024.02.16発出

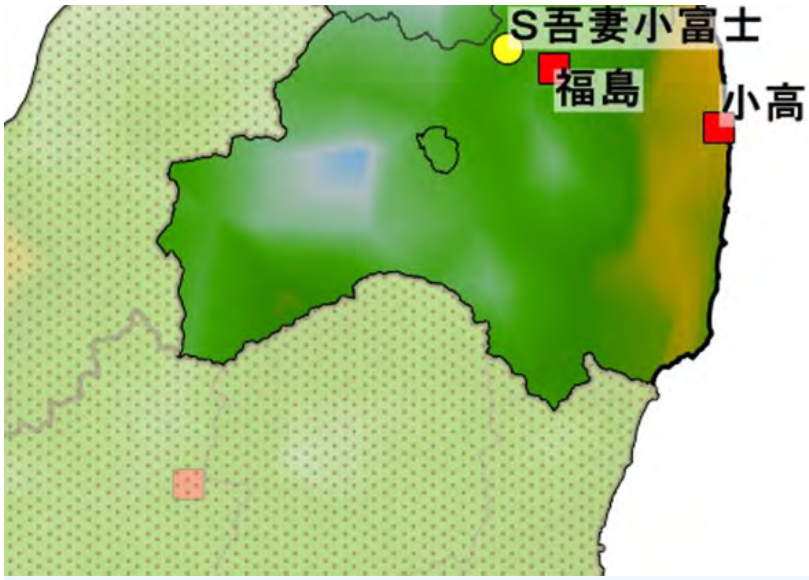
エリア：北海道・東北地方

時期：03/17まで

規模：M6.5±0.5

東北地方:警戒





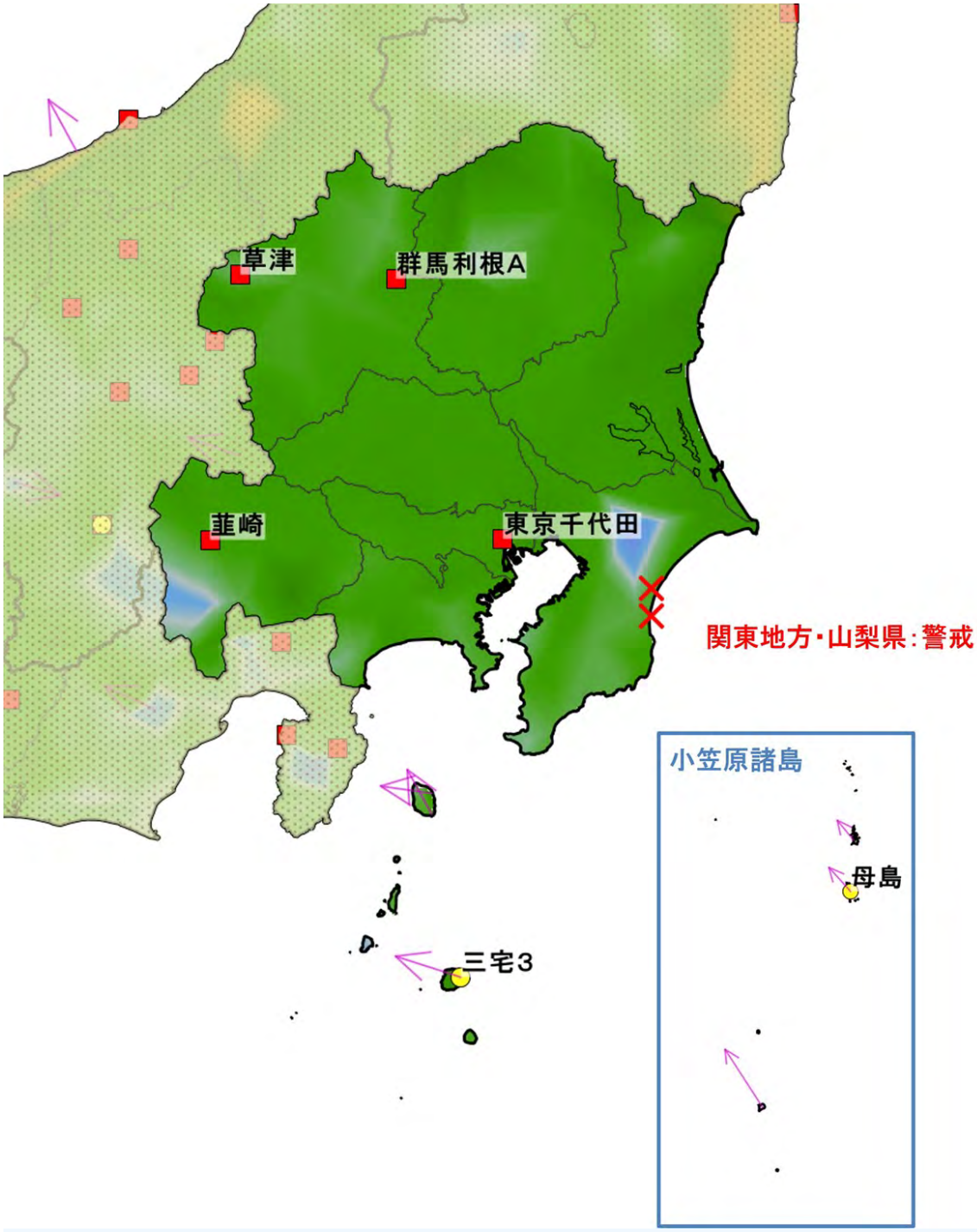
警戒エリア：東北地方 （岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
以下のピンポイント予測を発出しています。警戒を怠らないでください。
「北海道・東北地方でM6.5±0.5の地震が3月17日までに起きる可能性があります。」

福島県沖、宮城県沖で小地震が起きています。
4cm以上の週間高さ変動が岩手県の「玉山」、福島県の「S吾妻小富士」に現れました。
2022年1月を起点にした隆起沈降は岩手県、宮城県、福島県は隆起しています。秋田県、山形県の沈降エリアは縮小しました。 ここ1週間は隆起しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、山形県の「西川」、宮城県の「利府」、「仙台」、「宮城川崎」、 福島県の「福島」、「小高」に現れました。
南東方向の水平変動が活発に現れています。

関東地方・北信越地方・東海地方

2024.03.13発出(新規)

エリア：関東地方周辺
時期：04/13まで
規模：M5.5±0.5

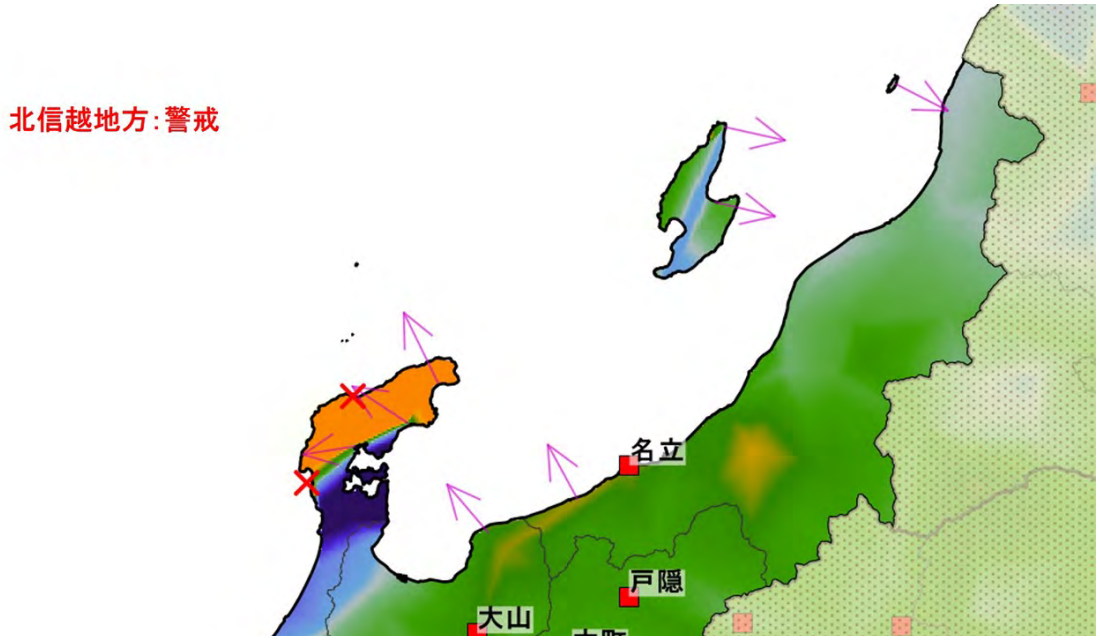


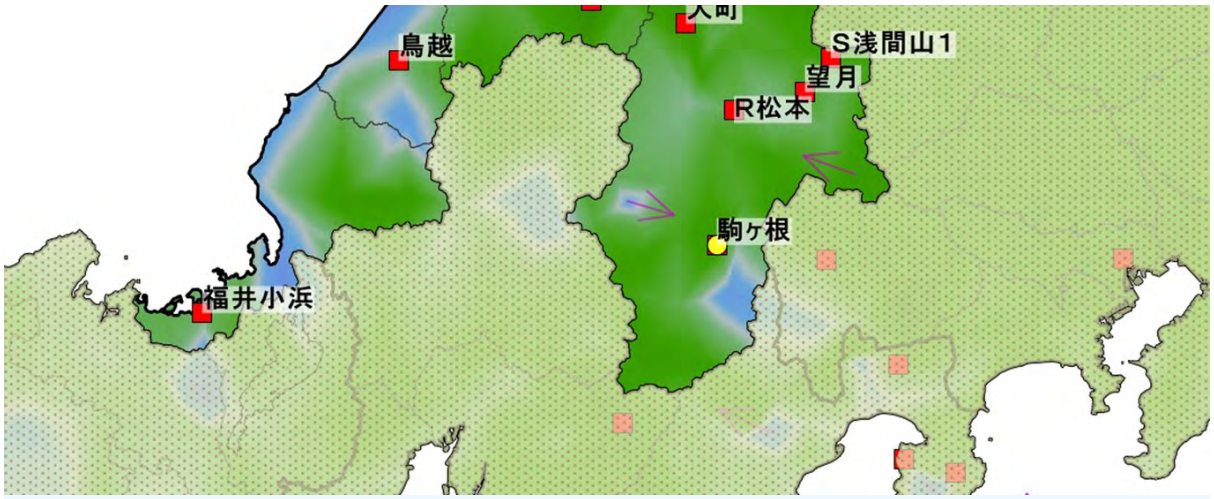
警戒エリア：関東地方・山梨県（東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県）

以下のピンポイント予測を3月13日に新規に発出しました。
警戒を怠らないでください。

「関東地方周辺でM5.5±0.5の地震が4月13日までに起きる可能性があります。」

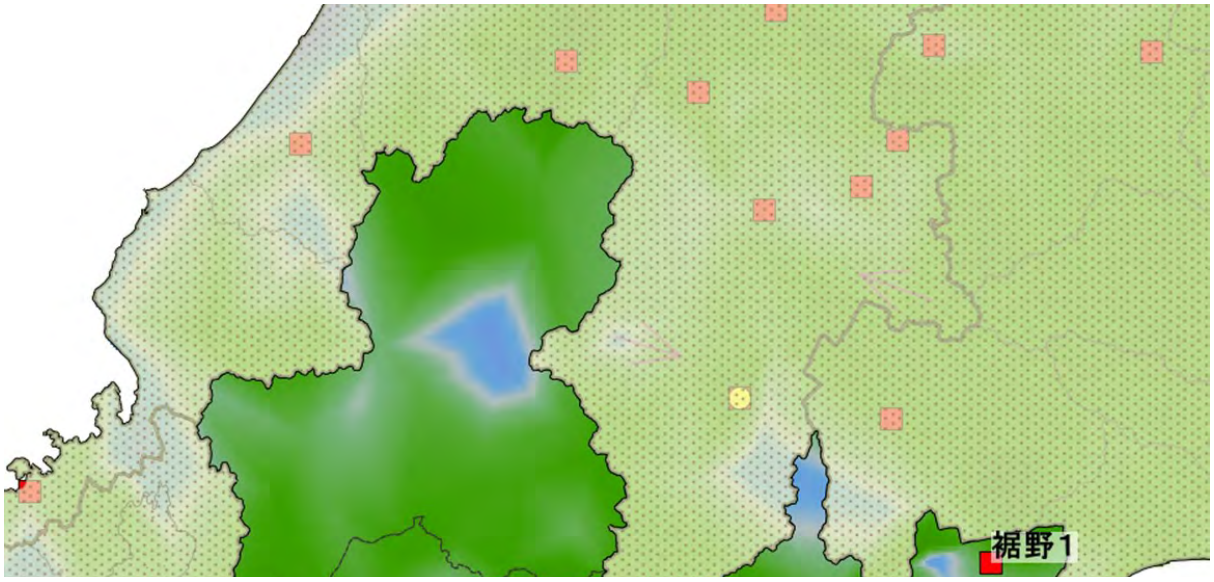
3月9日、千葉県東方沖を震源とする地震（M4.5、震度4）が発生しました。
千葉県北東部、千葉県東方沖を震源とする震度3の地震が起きました。
山梨県東部・富士五湖で小地震が起きています。
4cm以上の週間高さ変動が伊豆諸島の「三宅3」、小笠原諸島の「母島」に現れました。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起しています。ここ1週間は隆起しました。千葉県の沈降エリアは縮小しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、東京都の「東京千代田」、群馬県の「草津」、「群馬利根A」、 山梨県の「韮崎」に現れました。
水平変動はほぼ静穏ですが、速報解データ(3/3〜3/9)の水平変動に千葉県の「勝浦」、「千葉大原」、「長生」、「千葉緑」、 「市原2」に南東方向または東方向の変動が大きく現れています。 2018年7月7日にM6.0震度5弱の地震が同じエリアで発生しましたが、その際の前兆と酷似しています。
先週よりもその点数が増え、ベクトルも長くなりましたのでM5.5クラスの地震発生の可能性が高くなったと考えます。
よってピンポイント予測を発出致します。 (特集参照)





警戒エリア：北信越地方（富山県、石川県、福井県、長野県、新潟県）

石川県能登地方、能登半島沖を震源とする震度3の地震が起きました。
石川県能登地方で小地震が複数回起きています。
4cm以上の週間高さ変動が長野県の「駒ヶ根」に現れました。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起が優勢です。能登半島は、北部が隆起、南部は沈降しています。 佐渡島は縞状に隆起と沈降が混在していてひずみがあり不安定です。 ここ1週間は隆起しています。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、新潟県の「名立」、長野県の「戸隠」、「大町」、「S浅間山1」、「望月」、「R松本」、「駒ヶ根」、富山県の「大山」、石川県の「鳥越」、福井県の「福井小浜」に現れました。
北北西方向の水平変動が能登半島付近に少し現れています。



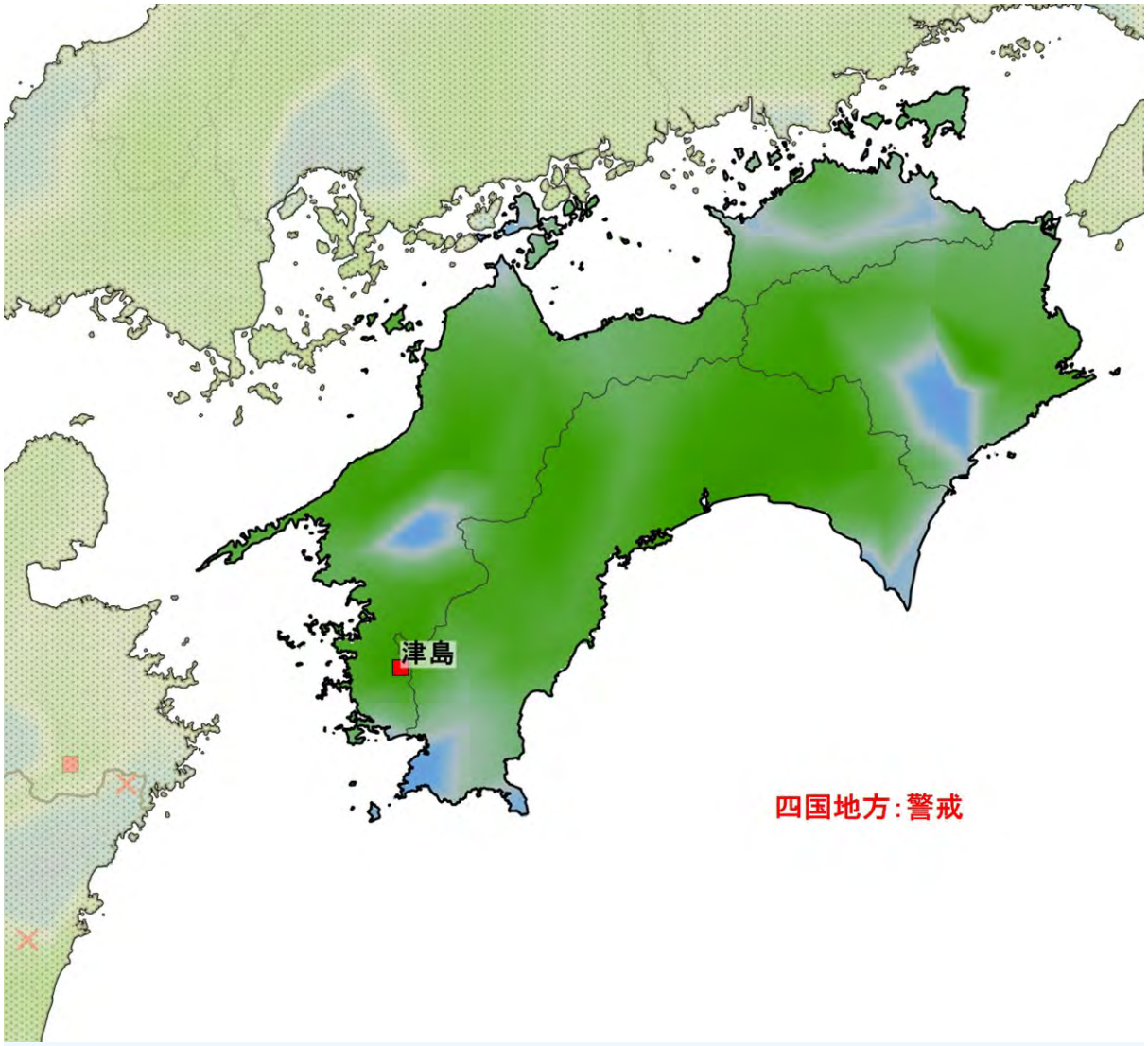
注意エリア：東海地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）
相模湾で小地震が起きています。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起しています。静岡県と岐阜県の沈降エリアは縮小しました。ここ1週間は隆起しています。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、静岡県の「裾野1」、「戸田B」、「中伊豆A」、 愛知県の「設楽」、三重県の「伊勢」に現れました。
水平変動はほぼ静穏です。

近畿地方・四国地方・中国地方

2024.02.28発出
エリア：九州・四国地方
時期：03/27まで
規模：M5.5±0.5
地震発生
3/2 宮崎県北部平野部

注意エリア：近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県）
紀伊水道を震源とする震度3の地震が起きました。
紀伊水道、和歌山県北部で小地震が起きています。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起しています。その中で兵庫県は隆起と沈降が混在しています。ここ1週間は隆起しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に沈降した点は、和歌山県の

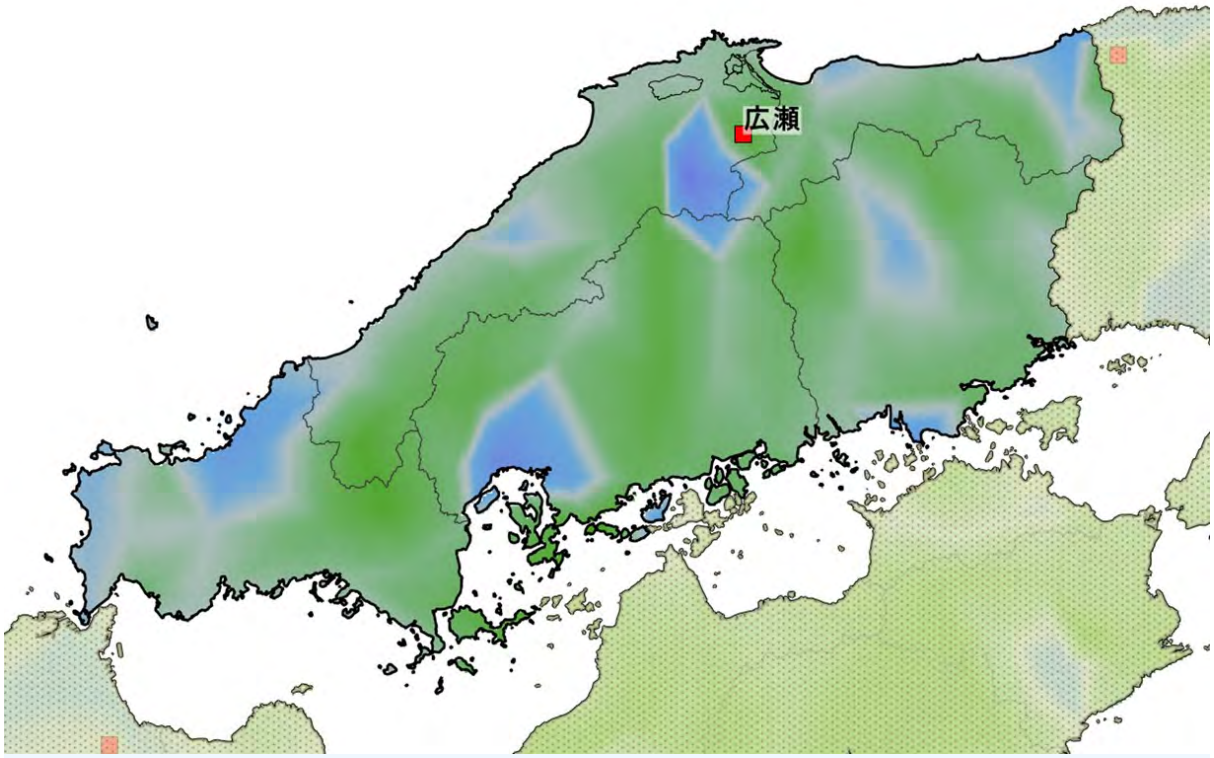
「那智勝浦2」、兵庫県の「温泉A」に現れました。



警戒エリア：四国地方（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
以下のピンポイント予測を発出しています。警戒を怠らないでください。
「九州・四国地方でM5.5±0.5の地震が3月27日までに起きる可能性があります。」

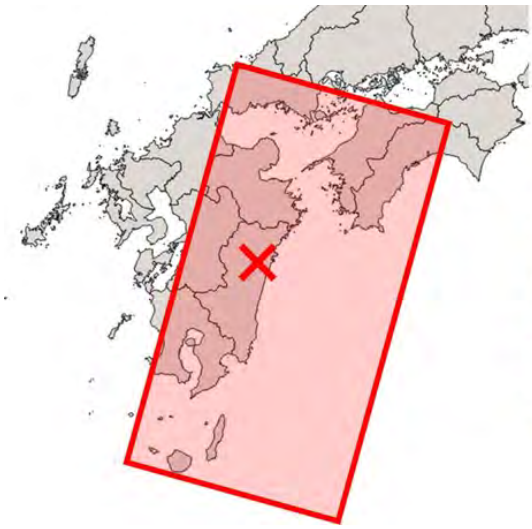
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起しています。ここ1週間も隆起しています。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、愛媛県の「津島」に現れました。

中国地方：注意

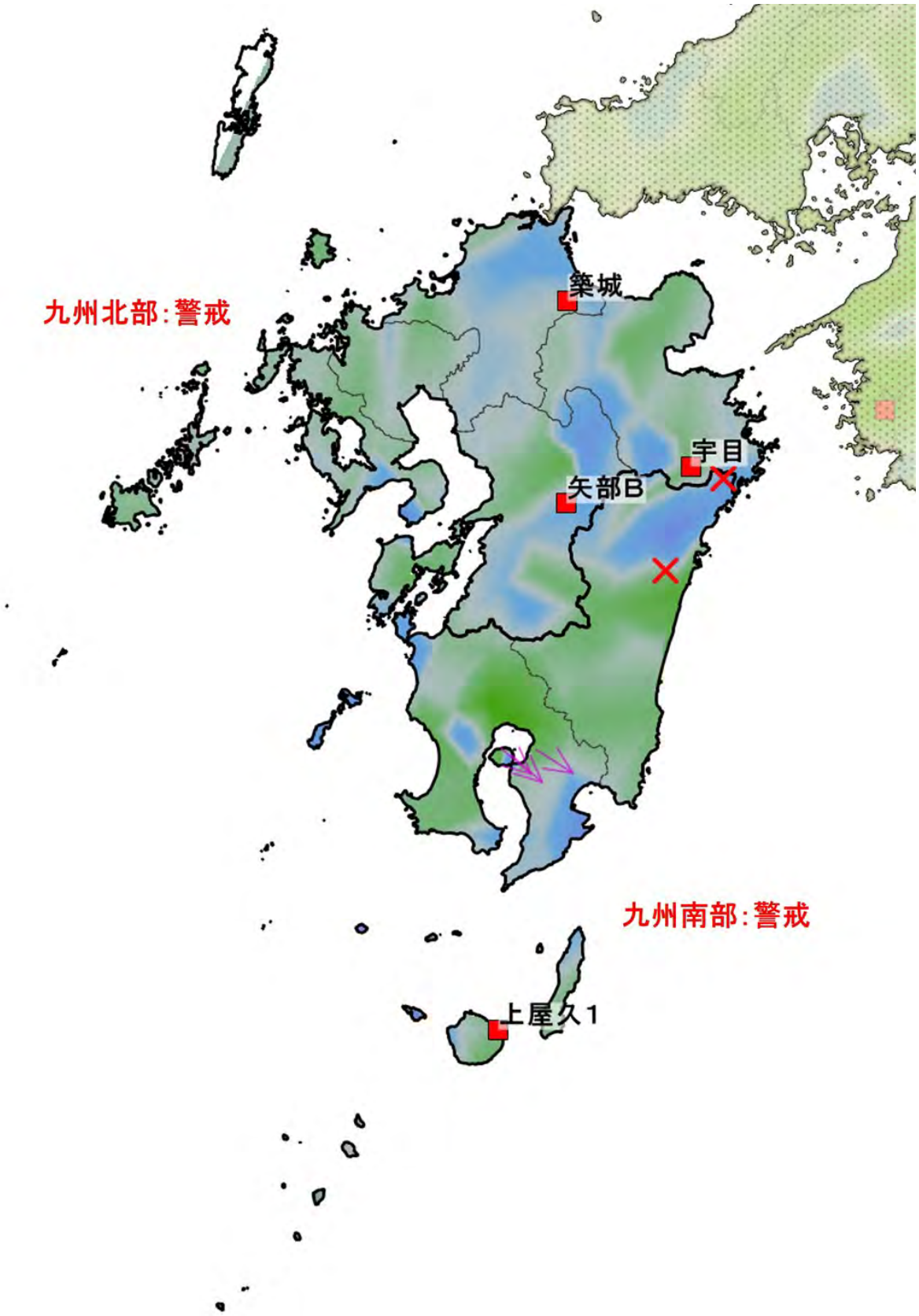


注意エリア：中国地方（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）
2022年1月を起点にした隆起沈降はやや隆起しています。ここ1週間は隆起しています。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、島根県の「広瀬」に現れました。

九州



2024.02.28発出
エリア：九州・四国地方
時期：03/27まで
規模：M5.5±0.5
地震発生
3/2 宮崎県北部平野部
最大震度4 M4.3



警戒エリア：九州北部（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県）
以下のピンポイント予測を発出しています。警戒を怠らないでください。
「九州・四国地方でM5.5±0.5の地震が3月27日までに起きる可能性があります。」

2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起と沈降が混在しています。ここ1週間は隆起しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に沈降した点は、福岡県の「築城」、大分県の「宇目」、熊本県の「矢部B」に現れました。

警戒エリア：九州南部（宮崎県・鹿児島県）
以下のピンポイント予測を発出しています。引き続き警戒を怠らないでください。
「九州・四国地方でM5.5±0.5の地震が3月27日までに起きる可能性があります。」

宮崎県北部平野部を震源とする震度3の地震と小地震が複数回起きました。
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起と沈降が混在しています。ここ1週間は隆起しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、鹿児島県の「上屋久1」に現れました。
水平変動はほぼ静穏です。

南西諸島

警戒エリア：南西諸島（沖縄県・鹿児島県奄美地方）
2022年1月を起点にした隆起沈降は隆起と沈降が混在しています。ここ1週間は大きく隆起しました。
前週と比べて1.5cm以上急激に隆起した点は、鹿児島県奄美大島の「瀬戸内」、 沖縄県の「宜野座」、「沖縄石川」、「渡嘉敷」、「知念」、「糸満」、「伊良部」、「城辺」、「石垣1」、「与那国B」、 「西表島」、「石垣2」に現れました。
南東方向の水平変動が現れています。大東諸島には北西方向の水平変動が現れています。

5．コラム「地震が変えた日本史」

太平洋戦争下の大地震
歴史時代作家:早見 俊 第6回

　昭和十六年（1941）六月、アドルフ・ヒトラーはソ連侵略を開始します。 独ソ不可侵条約を破棄した不意打ちでした。ヒトラーは宣戦布告もしていません。 ヨーロッパを席巻、世界最強と称されるヒトラーの軍隊、ドイツ国防軍に攻め込まれ、ソビエト共産党赤軍は敗退に次ぐ敗退、 国家存亡の危機に立ちました。
　では、スターリンはヒトラーの裏切り、ドイツ軍の侵攻を予想していなかったのでしょうか。
　スターリンはヒトラーを信用などしていませんでした。彼は大変な読書家でマルクスやレーニンの著作はもちろん、政敵であったトロツキーの著作も丹念に何度も読んでいました。読書家スターリンはヒトラーの「わが闘争」を精読

た。 読書家スターリンはヒトラーの、「わが闘争」も精読します。 「わが闘争」の中でヒトラーはドイツの領土をヨーロッパ東部、ポーランドからウクライナに求めています。つまり、ソ連領を奪うことを宣言しているのです。

ヒトラーの野心を承知の上で手を組んだのは時間稼ぎでした。スターリンは赤軍を大粛清しました。 人民の敵の名の下、准将以上の半数、将校の四分の一を銃殺にします。 この為、赤軍は組織的に弱体化していました。赤軍を建て直すまでの間、ドイツ軍に攻め込まれては困るのです。

スターリンが困ろうがヒトラーは待ってくれません。着々とソ連侵攻作戦を準備します。 「バルバロッサ作戦」と名付けられた侵攻計画は地上兵力、百五十三個師団、総兵員数三百二十五万人という大規模なものでした。 この兵力をヒトラーは三方面、すなわち、レニングラード、モスクワ、ウクライナを攻略目標とする三方面に分けて侵攻を開始します。

このような大軍がソ連国境に集結したのです。当然ながら大軍の移動を隠せるものではありません。 ソ連の情報網にも掴まれ、イギリスも偵察機でドイツ軍の動きを把握、スターリンに警告します。 しかし、スターリンはソ連の情報網が掴んだドイツのソ連侵攻計画もイギリスの警告も無視しました。 特にイギリスの警告には、不審感を募らせます。猜疑心の強いスターリンは、 イギリスはソ連とドイツを戦わせようとしている、と思い込みました。

スターリンはドイツ軍が攻め込んでくるのは二年先、もしくはイギリスがドイツに降伏した後だろうと想定していました。 二年先だろうと考えた根拠は、赤軍の建て直しがそれくらいかかるだろうという自分の都合です。 イギリス降伏後と踏んだのはイギリス、ソ連という東西二正面に敵を抱えた戦争を、いくらヒトラーでもしないだろうという考えです。

（次週に続く）

早見俊さんの公式ホームページ「早見俊の書斎」
https://hayamishun.com/

6．皆様の街の電子基準点

今週の電子基準点:和歌山県の「日置川」

写真提供者：寺村　佳浩様
「和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野の白浜町役場市鹿野出張所に設置されています。 駐車場隅にあります。和歌山県の清流　日置川の上流です。」

電子基準点の写真募集

　電子基準点の写真を撮影し、下記メールアドレスにお送りください。 写真を送信する際には、お名前、ご住所（粗品送付用）の他に、 電子基準点を撮影した場所やその様子などをお書きください。
(「電子基準点」を簡単に探す方法)
スマホやパソコン等を使用してグーグルマップの検索ボックスに「電子基準点」と入れればOK。 最寄りの「電子基準点」が数点現れます。
※学校などの敷地内への無断での立ち入り、撮影などは行わないでください
※車道からの撮影など、危険な行動は避けてください
photo@jesea.co.jp
お送りいただいた写真は、こちらで選ばせていただき、「MEGA地震予測」にお名前入りで掲載させていただきます。 採用された方には粗品を贈呈いたします。
（写真は当社が自由に使用させて戴くことをご了解の上お送りください。）

※用語について
・ピンポイント予測：「想定場所でマグニチュード6クラス以上の地震が1か月以内に起こる」ことを予測。
・最終解データ：国土地理院が提供する「日々の座標値（F5）」。観測した週の約2週間後に公開。
・速報解データ：国土地理院が提供する「日々の座標値

・速報解データ：国土地理院が提供する「日々の座標値（R5）」。観測した日の2日後に公開。
・「S天竜」のように本文中で「」でくくられたものは電子基準点の名称です。
・ミニプレート図：全国の電子基準点の週平均XYZ座標の三次元データを用い、クラスタリングを適用。 同じような三次元変動をするミニプレートに分類し、地図化したもの。定量的、動的、再現性があるなどの特徴を持つ。

各地の予測・概況
今後3か月程度以内に震度5弱以上の地震が起きる可能性があると思われるエリアの前兆の度合いによって記載します
〇警戒エリア（数週間にわたり多くのデータに異常変動が見られる）
〇注意エリア（数週間にわたり複数のデータに異常変動が見られる）

※使用データと計測期間について
「隆起沈降図(H)」（地震予測エリアマップのベースとして使用）
最終解データ使用
2022年1月を起点とした高さ（正式には楕円体高）の隆起沈降段彩図（色別の等高図）です。 2022年1月第1週の平均値と当該週の平均値との差を表しています。
黄緑・黄色・赤・茶色は数値がプラス（隆起）、青色系統の色はマイナス（沈降）を意味します。 濃い色ほど値が大きいです。

「週間高さ変動」
最終解データ使用
1週間の中での最大値と最小値の差、すなわち変動幅です。

「急激(1cm以上)に隆起・沈降した点」
最終解データ使用
週の平均値が前週と比べて1cm以上隆起または沈降した点です。

「水平変動（水平ベクトル）」
最終解データ使用
水平方向の動きを矢線で表します。 4週前と比べてどの方向に4ミリ以上水平変動したかを矢印の向きと長さ（変動の大きさ）で表しています。 短期的な動きを捉えることができます。

・JESEAは、国土交通省国土地理院の電子基準点データを解析に使用しております。 各エリア毎に約2〜3年間にわたる長期の異常変動の傾向を示す「隆起沈降図(H)」をベースに 1週間の短期的な高さの変動を表す「週間高さ変動」と水平方向の4週前との変動を矢線で表した「水平ベクトル」を掲載します。

ご購読、ありがとうございます。 ホームページやフェイスブック、インスタグラムでも詳しい技術的な説明など、情報発信しております。 よろしければ、チェックしてみて下さい。よろしくお願いいたします。
https://www.jesea.co.jp
https://www.facebook.com/jesea.japan
https://www.instagram.com/jesea_earthquake_prediction/

※「MEGA地震予測」では、国土地理院のGNSS連続観測点データを元に導き出した地盤の変動情報と過去の地震の震源、震度、 マグニチュード、被害の程度などとの相関分析をして、地震の前兆現象として捉え地震予測を提供しています。 また、GNSS連続観測点データの他にも複数のリモートセンシング技術（特許技術含む）を使用しています。 だいたい、震度5弱以上またはマグニチュード6程度以上の地震を想定しております。
※データは欠測値の有無および上空視野障害や受信ノイズ等による受信障害 の程度により信頼性を評価した上で棄却する場合があります。
※地震は複雑な自然現象です。本情報はあらゆる地震をすべて予測できるものではありません。 また、予測が外れる場合もあります。

※解約について
ご加入いただいている各配信会社にて解約をお願いします。
まぐまぐ
http://help.mag2.com/000007.html
niconico
http://qa.nicovideo.jp/faq/show/755
フーミー
https://foomii.com/files/information/help.html

※メールアドレスの変更について
ご加入いただいている各配信会社にて変更をお願いします。

まぐまぐ
https://help.mag2.com/000005.html
フーミー
https://foomii.com/files/information/help.html

『国土交通省国土政策局「国土数値情報（湖沼データ）」を使用しています。』

掲載された情報に起因するトラブル、損害等に関しては責任を負いかねます。
個人の責任においてご利用ください。
掲載記事の無断転送・転載・２次利用はご遠慮ください。
本掲載記事の著作権はJESEAが保有しております。
© 2024 JESEA All Rights Reserved.

◎週刊ＭＥＧＡ地震予測
購読アドレスの変更等の手続きはまぐまぐ！マイページから
⇒ https://mypage.mag2.com/